

「“よい仕事おこし”フェア」

全国の信用金庫によるビジネス展示・商談イベント「2015 “よい仕事おこし”フェア（主催・城南信用金庫）」が、9月8日から2日間、東京国際フォーラム（東京都千代田区）で開催された。同フェアは平成24年から毎年開かれ今年で4回目、会場では首都圏・東北六県の企業を中心に「機械・金属・電子製造」「加工技術」等14種類の分野で展示の他、「東北応援エクストラスデー」と題して東北特産品等が展示・販売。318社・団体が出展、60社・団体がバイヤーとして参加、2日間で2万9423名が来場した。

ベアリング締結を提案

東京
メタル
脱落と回転阻害を防止



通常のベアリング、ワッシャー、ヨッシャー、通常のワッシャー、ヨッシャー、ナットの順でボルトを締結

（株）東京メタル（神奈川県川崎市、竹田弘二社長）は同社開発の緩み止めワッシャー「YOSH ER（ヨッシャー）」をはじめ、各種ワッシャー・ばね座金を出品。ボルトにベアリングを通してナットで締結の際に「ヨッシャー」使用による脱落防止と、締め過ぎで起

こるベアリングの回転阻害の防止を両立する使用方法を提案。また8月か

らの規格化による常時在庫もアピールした。

「ヨッシャー」は、ワッシャー自体にねじ山の谷部に沿う形で角度を付けて曲がった形状で、母材（もしくはボルト）とナットに挟まれると、ワッシャー内側の片側部分がねじ山一つ分を乗り越えて歪んで締結される事で、元に戻ろうとする反作用による緩み防止機能



カットモデル※左側がヨッシャー締結前の状態で片側の左半分がねじ山を乗り越えていないので隙間がある、右側がヨッシャー締結後の状態

を發揮する。今回提案のベアリング締結での使用方法は、ボルトに通常のワッシャー・ベアリング・通常のワッシャー・ヨッシャー・ナットの順で締結、「ヨッシャー」本来の脱落防止に加えベアリングの回

転を阻害しないねじ山の位置で「ヨッシャー」が固定される事で、ナットの締め過ぎで起こるベアリングの圧迫による回転阻害も同時に防止する。「ヨッシャー」の常時在庫体制の確立では、ワッシャーとして一般的な

形状の「Type A」と外側の測が曲がっている「Type C」の2種類で、M5・M6・M8・M10のサイズ・素材は鉄とステンレスで規格化。量産による低価格化と、それによる普及促進を目指している。

今回の出展は、新規需要の模索と知名度アップを狙ったもので、「ヨッシャー」を鋼板にボルトとナットで締結した状態のカットモデルで原理構造を説明。また、昨年12月に開発した「Type C 新型」に「専用キャップ」をナットに被せる事で脱落・盗難防止機能強化としての使用方法も提案した。

展示ブースにおいて同社担当者は「従来の用途で使用される、競争相手である他社の緩み止め置き換わる事に留まら

ず、振動が多く緩みやすい箇所等の“高度な脱落防止機能”を求める新し

い分野での幅広い利用を提案したい」とコメントしている。